

令和6年度第1回自立支援協議会テーマ別部会
都市型グループホームの在り方検討について 議事要旨

1. 開催日時 令和6年9月30日（月） 14時～15時30分
2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室
3. 出席者 （委員）＊団体名のみ記載
浦安手をつなぐ親の会、（福）一路会、（福）敬心福祉会、（福）東京都手をつなぐ育成会、
（福）佑啓会、（特非）あいらんど、（特非）タオ
障がい事業課
（事務局）浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
 - （1）自己紹介
 - （2）プロジェクト構成についての説明と意見交換
 - （3）その他

3. 閉会

5. 配布資料

- 議題2資料1 浦安市自立支援協議会について
議題2資料2 委員名簿と役割（案）
議題2資料3 浦安市障がい者福祉計画 抜粋資料

6. 議事要旨

事務局より、令和6年度の自立支援協議会、テーマ別部会の在り方やテーマについて説明。

（1）自己紹介

各委員より自己紹介と浦安市における居住資源についての課題意識などについて発表。

■主な意見

- ・浦安市は、福祉サービスが充実しているが、グループホームは課題があると考える。他市と地域性の違いはあるが、浦安でも何か出来ることがあるのではないかと思う。
- ・グループホーム事業者同士の横のつながりも大事だと思う。困った時に助け合える、そのために情報を共有していくことが、お互いにとって強みになると思う。
- ・重度の障がいのある方の住まいの問題は長年の地域課題である。
- ・障害者雇用で一般企業で働いている市民税課税の方がグループホームに入居すると、家賃の助成を受けることが出来ず、給料内で家賃の支払いや生活費を捻出することが難しい場合がある。お金の問題が、親元を離れて自立するきっかけを失う原因の一つとしてあるのではないか。

(2) プロジェクト構成についての説明と意見交換

■説明（事務局）

事務局より、会議の目的と部会のテーマとして選定された背景、今後の会議の進め方について説明。

■主な意見（現状と今後の展開について）

- ・「足りない」という意見もある一方で、実際には市内のグループホームに空きがあり満室にならない状況もある。現状について、もっと掘り下げることが必要ではないか。
- ・自治体によっては、障がい種別によって家賃補助の金額がちがう。区によっても補助金の仕組みが違うので、浦安市に近い状況の自治体を調査してみるとよいのではないか。
- ・地域の中には、障がいのある方が家を借りることが難しい現実がある。これが本当に大きな障壁となっている。
- ・浦安市の私有地事情はどうなっているか。
- ・家賃や土地の問題だけでなく支援者を確保するという点でも課題がある。
- ・他自治体が行っているような、グループホームの候補となる空き家を見つけるチラシを作成することはすぐにでも出来るのではないか。
- ・他自治体へのヒヤリングは障がい事業課が10月初旬に実施予定。次回会議でポイントを整理したい。

■次回会議までに行う確認事項

- ・浦安市が保有している私有地の状況
- ・現在、グループホームに入居している方（市内、市外）の実数
- ・グループホーム待機者登録状況
- ・浦安市の空き家についての集約状況の確認
- ・他自治体のリサーチ結果の共有準備